

団長の独り言

12月10日(土)「竹本和弘、参戦！」

2月に上演する劇団ふぁんハウス創立25周年記念公演「人生芸夢く夢のとおり道く」の稽古は順調に進んでいる。

思い起こせば、キャストイングを行ったのは5月で、稽古をスタートさせたのが6月、6月、7月と人生芸夢の稽古を行い、8月、9月、10月が「久美・美容室物語板橋公演」の稽古、10月20日21日が本番だった。

そして11月より、本格的に「人生芸夢く夢のとおり道く」の稽古に入っている稽古場に、本日、竹本和弘がやって来た。

竹本和弘といえば、2002年から2011年まで劇団ふぁんハウスに在籍していて、数々の主役もこなした男。

今年公開された映画「冬薔薇」(監督・阪本順二)に劇団ふぁんハウス所属として、主演の伊藤健太郎君との1対1のシーンで見事に「森繁久」を演じ、さりげない中にも重みのある竹本のセリフは、ネット上でも大変良い評価をうけていた。竹本にしてみたら映画出演は初めてで、そもそも役者として芝居をするのも劇団ふぁんハウスでの公演以来なので十数年ぶりだった。

それなのに彼は、映画スタッフさんが約100名以上はいるであろう撮影現場でも全く物おじする事なく、貫禄すら醸し出しながら、堂々と撮影に挑んでいた。

「たけもっちゃん、錆びてへんなあ〜」って、現場の彼の芝居を観ていてシミジミ思い、東映大泉撮影所にある、映画館といつてもいほど立派な試写専門スタジオでの初号試写で、大きなスクリーンに映し出された竹本和弘を観て、私はとっても誇らしい気持ちになった。

作品のエンディングで、「森繁久・竹本和弘」という文字と、「劇団ふぁんハウス」という文字が大きく映し出された時、「ついに、こんな時がきたんやなあ」と感無量。もともと彼は、芝居に対する勘所があるうえに相当な努力家だったので、そんな彼のやる気に応えるべく、随分と色々な役を演じてもらったけれど、阪本監督の素晴らしい演出で、立派な俳優に仕上げていただいていた。

目がみえなくても、「熱意とやる気があれば本物の芝居が出来る」を現実のものにしてくれた彼と、また一緒に芝居がしたいなあ〜って、ずっと心に秘めていたのだが、私のエールによく首を縦に振ってくれまして、この度、「人生芸夢く夢のとおり道く」に参加してくれることになったのだ。

彼の初舞台が20年前に上演した「人生芸夢く夢のとおり道く」で、今回、初めて舞台に立った作品に向き合う事になる。今いるメンバーで、20年前の「人生芸夢く夢のとおり道く」を知っているのは、私とたけもっちゃんだけ…お互いに歳をとりました。

そんな話はさておいて、約12年ぶりに稽古場へやってきたたけもっちゃん。廊下で彼を出迎えると緊張した様子。聞けば映画出演の時よりも緊張していたらしい。

稽古開始前、15分ほど二人きりで色々な話を致しまして、稽古場の中へのどのメンバーも待ちに待ってました！って感じで完全ウエルカムムード。それもそのはず。

たくさんのメンバー達が、「冬薔薇」の映画を観ていたようだし、前々回公演「ぎ・クリーンキーパー」の稽古時から「竹本って役者がねえ」と私は、無意識のうち彼の話を何度もしていたみたい…。

彼は初演の「ぎ・クリーンキーパー」と、その10年後に再演した「ぎ・クリーンキーパー」と、どちらも主役で出演していて、2度目の「ぎ・クリーンキーパー」の本番中、激しく転んで肋骨を骨折しながらも、誰にも悟られることなく本番をやり遂げた！という武勇伝の持ち主だったって事もあり、その事と関連しているのか？どうなのか？「エンターテイメントライブショー」というイベントで、私とたけもっちゃんが劇団ふぁんハウスの歴史を語り合うシーンの動画も、皆さんに観てもらった事もあった。

だから今いるメンバー達にしてみたら、「初めまして」って感覚じゃないらしい。

まずは緊張している竹本に挨拶を促すと、最初はまともな挨拶をしていたのに、挨拶の締めで「新参者ですが、よろしくお願致します」と、今稽古をしている「人生芸夢」でのとある役者の決めセリフをサラリと言ってみんなから笑いを取るあたりさすが！

「やっぱり感性、錆びてへんなあ〜」とまたまた感心する私。

こうして稽古場がかなり和んだところで、稽古開始。はじめに今の座組が、どんなトーンでどんなテンポの芝居をしているのか、たけもっちゃんに把握してもらおうべく、シーン1を最初から行い、そのまま彼・演じる「庄平」が登場するシーンを行うと、当然の様に彼はセリフを入れて来ていたし、相当脚本を読み込んで研究してきたからこそ出来る意表をつく登場で、みんなを驚かせる。

「そうきたかあ！」と思った私は、ならば！と更なる想像力が掻き立てられ、「たけもっちゃん、俺の身体触って！」と言って私の身体に触ってもらい、「どう動くのか理解する」という演出方法を、十数年ぶりに実践すると、彼は益々ノリノリになり、このシーンが大きく膨らんだ。こうして、彼の情熱に刺激をうけた皆さんは、いつも以上に張り切っているように思えた今日の稽古でした。(はあ？俺が一番、張り切っていた？)